

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		近県親善シニアソフトボール大会開催助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020401000066
						単独/補助	単独		
政策体系上の位置付け								所属課	090501
政策体系	総合計画の施策名	O204 生涯スポーツ活動の振興							スポーツ振興課
	政策名	O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	O4 生涯スポーツ活動の振興						グループ	スポーツ振興G
	手段名	O1 ①スポーツをする機会の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	07	01	02	00	保健体育総務事業		
法令根拠		近県親善シニアソフトボール大会開催補助金交付要項				事業期間		単年度繰返し (平成18年度~)	
[Do]		1. 事務事業の現状把握 (その1)				期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順	
	<p>・近隣各県(主に関東圏内)のシニア世代ソフトボール愛好者が生涯スポーツの一環としてチーム間での交流を図ることや、ソフトボール技術の向上、競技の振興を目的として行なっている。桜川市ソフトボール協会の主催で行われ、シニアの部、グランドシニアの部の2部門からなる。大会の開催により、市内小売店、宿泊施設等の商業振興にもつながっている。</p> <p>○シニアの部 59歳以上 ○グランドシニアの部 68歳以上</p> <p>【2019年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日時 平成31年4月6日~4月7日 会場 桜川市真壁運動場外 参加チーム数 シニアの部29チーム グランドシニアの部11チーム 		補助金交付事務	

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移								
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
補助金交付事務	開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
関東圏内シニア世代のソフトボールチーム (愛好者)	シニア世代のソフトボールチーム (愛好者)	チーム	44.00	44.00	44.00	44.00	44.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
チーム間の交流、技術の向上、競技の振興を図る。 スポーツを通して健康で明るい生活が送れる。	参加者数	人	1,021.00	1,021.00	1,021.00	1,021.00	1,021.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度	01年度	02年度		期間限定	
		(実績)	(実績)	(計画)		総投入量	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	80	80	80	0
		事業費計 (A)	千円	80	80	80	0
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	80	19 負担金補助及び交付金	80
	合計	80	合計	80

事務事業名	近県親善シニアソフトボール大会開催助成事業	事務事業No.	20401000066	所属課	スポーツ振興課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> 平成7年度に近県シニア層交流と技術の向上を図ることを目的に開始された。 年々参加チームが増加傾向にあり地域の振興につながっている。 					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> 北関東横断道路の高速道路が整備されたため、近年は宿泊は少なくなりましたが、市内の旅館組合より、宿泊が毎年数チームあり、好評である。経済効果はある。 					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている チーム間の交流、技術の向上、競技の振興という意図は生涯スポーツ社会を実現するための手段となっている。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である スポーツを通じた地域間交流を図り、また、生涯スポーツ社会の実現を目指すことが意図であるため妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 参加者がシニア層であり、日頃の練習成果が大会で十分に発揮されているため向上余地はない。
公平性	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 チーム間の交流、競技の振興、日頃の練習成果を発揮する機会、そして、スポーツ社会の実現が妨げられてしまう。
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 関東圏内のシニア層とソフトボールを通じて交流をする機会はこの事業以外ない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 桜川市ソフトボール協会が協賛、後援団体の支援を受けて完全自主運営で大会を開催し、大会運営のための一部の補助金交付のみであり、削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 参加チームからは参加費を徴収し大会運営に充当しているため、一部の受益者に偏っていて不公平とはいえない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	・北関東横断道路の高速道路が整備されたため、近年は数チームの宿泊となってしまったが市内の旅館組合より、宿泊が毎年数チームあり、好評である。経済効果は見込まれる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
(6) 事務事業優先度評価結果		⑦																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>